

令和7年度大阪府中小企業支援交付金有識者会議 議事概要

1. 開催日時

令和7年9月22日（月曜日） 14時～16時 15分

2. 開催場所

大阪産業創造館 17階会議室

3. 出席者

【委員】大庭委員、笠谷委員、西谷委員、丸山委員（五十音順）

【大阪府】商工労働部商工労働総務課参事、外4名

【大阪市】経済戦略局産業振興部企業支援課長、外2名

【大阪産業局】専務理事、外5名

4. 議題

（1）令和6年度交付金事業の実績・目標達成状況等について

（2）令和7年度交付金事業の概要、令和8年度の方向性について

5. 議事要旨

（1）令和6年度交付金事業の実績・目標達成状況等について説明

（2）令和7年度交付金事業の概要、令和8年度の方向性について説明

【委員からの主な意見】

○令和6年度交付金事業の実績・目標達成状況について

- ・ユニコーン輩出3件目標は非常に難しい。国際ビジネス支援のスタートアップ支援への活用、グローバルに活躍している人との繋ぎの注力等に引き続き取り組んでいただくとともに、達成に向けた中間的な指標（例えばユニコーンの前段階のM&Aを考えている企業が母集団として何社あるか等）を設定するなど、実現に向けて頑張っていただきたい。
- ・東京でのスタートアップが活躍するなか、京阪神で活躍する創業者から起業を志す若者等に対するアイオープニングな語りかけがあると、将来に向けて起業してみようという種をまけると思う。このようなことは行政としてできると思う。
- ・たくさんの支援を実施しているが、一般の方が支援の存在を知っていることが重要であり、産業局の認知度をもっと上げる必要がある。
- ・多くの事業を実施している中で、各事業に人的リソースや予算がどのくらい投入されているか確認したい。人的リソースは複数の事業に携わっている職員も多いので難しいと思うが、なんらか工夫いただきたい。
- ・スタートアップや海外ビジネスも重要、かつ、万博のために生産能力を強化した企業への万博後の需要減少に対する支援なども必要と思う。

- ・目標設定が妥当かについて、今後検討が必要。また、府市の交付金事業や国等からの委託事業等、様々な事業形態があるので、それらをわかりやすいように産業局事業の全体像を今後示して欲しい。

○令和7年度交付金事業の概要、令和8年度の方向性について

- ・中小企業の人材不足は切実な課題であるので、次年度事業の中でもしっかりと実施していただきたい。
- ・時間やリソースが限られるなか、行政においては、独自になにかやろうとするよりも、例えば、民間から人材分野ですでに活躍されている人材などを活用し、より効果的に事業を実施する方向性をもってもらいたい。
- ・AIは産業革命レベルのインパクトがある、そこに予算を一点集中するくらいでもいいと思う。
- ・創業支援について、若手だけではなく、男性の壮年層の開業者が多いという現実を踏まえ、産業局で正しい情報・支援を受けていただけるよう、サーチエンジンで上位に産業局があがるなど、広報に工夫いただきたい。
- ・中小企業で取り組む人材戦略などを広く展開いただくような施策を期待する。